

北区



価値観修正し 暴力手放して

男の生きづらさ講座

男性が抱える生きづらさの背景を探る市民向け講座が北区梅田1丁目の市立総合生涯学習センターで行われ、講師を務めたシニア産業カウンセラーの吉岡俊介さんが、社会的な性差である「ジェンダー」の縛りによって「男性は弱音を吐けず、苦しみに見舞われることになる」と語った。

一般社団法人「ホワイト



男性が抱える悩みについて語る吉岡さん

リボンキャンペーン・シャパン」(北区)が開催。男性特有の生きづらさと、そこから生じる恐れのある女性に対する暴力を考えることが狙い。

吉岡さんは、近畿の自治体の男性相談事業に携わり、個人でもカウンセリングルームを開業。「『パワーゲームに勝ってこそ男だ』という考えに取りつかれると、暴力を容認する価値観につながる」と説明。

その上で「基本的な価値観や信念を修正しないと、暴力を手放すことは難しい」と指摘した。

最後に「『男は泣くべきではない』という男のよろいを着ていると、何か起きたときに不愉快な感情が出る。怒りの背景にある弱い感情や悲しい感情に意識を向けてほしい」と呼び掛けた。(山本圭介)

